

1. 【国立国会図書館】
メールマガジン「調査及び立法考査局新刊お知らせメール」（試行）開始のお知らせ
2. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
サイエンスアゴラ 2025 企画募集について（ご案内）
3. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ ～研究成果を未来に生かす
取り組み募集中！～
4. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
社会技術研究開発事業 2025 年度提案募集のお知らせ

■-----

【国立国会図書館】

メールマガジン「調査及び立法考査局新刊お知らせメール」（試行）開始のお知らせ

国立国会図書館は、調査及び立法考査局を中心に、国会の活動を補佐する役割を担っており、その一環として、国政課題に関する調査研究の成果を刊行物にまとめています。

メールマガジン「調査及び立法考査局新刊お知らせメール」（試行）では、これらの新刊情報や、調査及び立法考査局が行うイベント情報などをお知らせします。メールアドレスがあれば誰でも配信登録が可能で、登録は無料です。毎月2回程度の配信を予定しています。ぜひご登録ください。

メールマガジン『調査及び立法考査局新刊お知らせメール』（試行）

<https://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/newpublication.html#c05>

■-----

【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】

サイエンスアゴラ 2025 企画募集について（ご案内）

科学技術振興機構（JST）では、「科学」と「社会」の関係を深める目的で、様々な立場の人たち（市民、科学者・専門家、メディア、産業界、行政関

係者など)が参加し対話するオープンフォーラム「サイエンスアゴラ」を2006年度より開催しています。出展者・来場者共に年代・セクターを超えた多様な人々が集い、比較的専門的なことが議論されるセッションから、対話型の展示やワークショップなど、様々な企画が集まります。科学技術の楽しさを伝えて興味関心を喚起することに加え、科学技術をめぐる様々な課題や今後の社会の未来像についても考えられる、多様な人々が集う場を目指しています。

「サイエンスアゴラ 2025」は、東京・お台場青海地区のテレコムセンタービルならびに日本科学未来館と連携して開催いたします。サイエンスアゴラのビジョンは「科学とくらし ともに語り 紡ぐ未来」です。ここでは、多様な視点を持つ人々が集い、自由に意見を交わす「開かれた場」として、誰もが問いを持ち寄り、対話を通じて共に考え、未来社会を描くことを大切にしています。科学技術は、単なる理論や知識にとどまらず、私たち一人ひとりの暮らしを豊かにし、社会を発展させる力を秘めています。科学技術が持つ無限の可能性と、それに伴う課題について、わかりやすく、楽しく、そして深く伝えることこそが、より良い未来社会の実現へ向けた第一歩となります。

2025年のサイエンスアゴラでは、このビジョンをさらに深め、暮らしや社会と科学との繋がりを意識した出展企画を広く募集します。研究者の皆さんも、次世代を担う皆さんも、ご自身の研究や活動について市民の声を聞ける貴重な場としてサイエンスアゴラを活用していただき、ご自身のスキル向上や将来のキャリアを拓くチャンスにつなげてください。多様な価値観を認め合いながら、来場した方と共に考え、未来社会を創り出す「共創」に繋がる場を、サイエンスアゴラで一緒に実現しませんか。

【サイエンスアゴラ 2025 開催日程】

日時：2025年10月25日(土)～26日(日)

会場：テレコムセンタービル、日本科学未来館(東京・お台場 青海地区)

【企画募集中】

応募締切：6月12日(木)17時

募集説明会(オンライン)：5月21日(水)16時～17時

募集要項、応募申請フォームなど詳細は次のURLよりご確認ください。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2025/entry.html>

<お問い合わせ先>

サイエンスアゴラ 2025 運営事務局（TSP 太陽（株）内）

TEL：080-7531-7410 E-mail：info-agera2025(a)tsp-taiyo.co.jp

※(a)を@にしてお送りください。

問合せ時間 9:00～17:00（平日のみ、土日祝日を除く）

■-----
【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】

「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ ～研究成果を未来に生かす取り組み募集中！～

JST 社会技術研究開発センターでは、科学技術・イノベーションを用いて社会課題を解決する取り組みを対象とした「STI for SDGs」アワードの2025年度の募集を行っています。

このアワードでは、活用している技術の種類やレベルは問わず、独自性や展開性に優れた取り組みを表彰し、それらの推進と他での活用を進めることでSDGs達成への貢献を目指しています。創設以来38件の取り組みを表彰してまいりましたが、受賞者の皆さまからは「問い合わせや講演依頼が増えた」、「周囲からの活動への信頼が高まった」、「新しい連携先が得られた」などのお声もいただいています。

2030年に向けた折り返し時期を過ぎた現在でも、SDGsの進捗は芳しいものではなく、解決すべき社会課題や「取り残されている」人々は多数存在します。その解決のための原動力として、科学技術には大きな期待が寄せられています。

今年度は、そうした社会課題解決の流れを加速したいという思いのもと、“近い将来に成果が見込める取り組み”を対象に「奨励賞」も新設しました。皆様の研究成果を活用した取り組みを、ぜひ当アワードにご応募ください。企業や市民の方など、多様な方々と連携した活動も歓迎します。

幅広い分野からの、多数のご応募をお待ちしています。

<「STI for SDGs」アワード 公募詳細について>

●公募締切：2025年7月16日（水）正午

●公募詳細：<https://www.jst.go.jp/ristex/sdgs-award/index.html>

※これまでの受賞取り組み内容も、こちらでご覧いただけます。

●後援： 文部科学省

<本件のお問い合わせ先>

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
社会技術研究開発センター（RISTEX）
「STI for SDGs」アワード事務局
E-mail： sdgs-award(a)jst.go.jp
※(a)を@にしてお送りください。

【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
社会技術研究開発事業 2025 年度提案募集のお知らせ

JST 社会技術研究開発センターでは、社会技術研究開発事業における以下の4つの研究開発領域・プログラムにおいて、2025年度の提案募集を行っています。

1. 科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム

新興科学技術の ELSI への対応と責任ある研究・イノベーションの営みの普及と定着を目指し、研究・技術開発の初期段階から包括的に ELSI に取り組む、実践的協業モデルを開発します。

2. SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム

（シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ）

SDGs 達成への貢献に向け、地域が抱える具体的な社会課題に対して、研究代表者と地域で実際の課題解決にあたる協働実施者が共同で、既存の技術シーズの活用による解決策を創出します。

3. SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム

（情報社会における社会的側面からのトラスト形成）

高度情報社会の進展が生む情報や情報の取得・利活用に関わる「トラスト」の問題、更にはそこに介在する人・組織、情報技術やサービスに対する「トラスト」の形成の在り方の問題に対し、より本質的な問題解決につながる課題特定、及び解決策の開発を図ります。

4. ケアが根づく社会システム

広義のケアの価値を、その背景等を含め多様な視点から科学的に解明し、ケアの価値を可視化するための研究開発ならびに、見出されたケアの価値を実

社会の現場で実践する活動を通じ、「他者や環境を気にかけて、共にある」コミュニティやインフラの実現を 目指します。

- 公募締切：2025年6月4日（水）正午（上記4領域・プログラム共通）
- 公募詳細：https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2025.html
※各領域・プログラムに関する総括からのメッセージ動画や、募集説明会の資料も上記サイトでご覧いただけます。

<本件のお問い合わせ先>

- ・応募先に迷われる場合など、領域・プログラム横断的なお問い合わせは下記宛にお願いします。
- ・各領域・プログラムごとの詳細は「公募詳細」サイトに掲載の宛先までお問い合わせください。

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

社会技術研究開発センター（RISTEX）企画運営室 募集担当

E-mail： boshu(a)jst.go.jp

※(a)を@にしてお送りください。

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 X

https://x.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34